

令和5年第5回鹿沼市議会定例会

# 発言順序表

議案質疑並びに市政一般質問

令和5年12月6日(水)

	議席 番号	(登壇予定時刻) 議員氏名	発 言 内 容	頁
1	1	(10時頃) 鹿妻武洋	1 鹿沼市小中学校の教員の働き方について 2 鹿沼市公共施設等総合管理計画について	1 2
2	9	(11時頃) 梶原隆	1 デフレ完全脱却のための総合経済対策について 2 子どもにやさしいまちづくりについて 3 安心して暮らせるまちづくりについて 4 漏水対策について	3 6
3	24	(13時頃) 大島久幸	1 堆肥化センターについて 2 「鹿沼市土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」について 3 鹿沼市の排水処理事業について 4 掬翠園のコワーキング事業について 5 鹿沼市の政策決定と事業推進について	7 10
4	14	(14時頃) 阿部秀実	議1 議案第136号 鹿沼市手数料条例等の一部改正について 1 ごみ・環境行政について 2 教育機関における課題について 3 国民健康保険の運営について	11 13
5	3	(15時頃) 橋本勝浩	1 水源地域対策について 2 防災力の強化について 3 学校教育の推進について	14 15

登壇予定時刻はあくまでも目安であり、前後することがありますので、予めご了解ください。  
発言内容の番号で、「議」がついているものは議案質疑、ついていないものは一般質問です。

令和5年12月7日(木)

	議席 番号	(登壇予定時刻) 議員氏名	発 言 内 容	頁
6	8	(10時頃) 藤田義昭	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民がより利用しやすくなるための市庁舎設備の充実化について</li> <li>2 鹿沼インター産業団地の整備状況について</li> <li>3 労働力の確保について</li> </ol>	16 ) 17
7	4	(11時頃) 早川勝弘	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総合経済対策について</li> <li>2 地方創生SDGsについて</li> <li>3 投票率の低下について</li> <li>4 認知症施策の推進について</li> </ol>	18 ) 20
8	5	(13時頃) 駒場久和	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プレミアム付商品券について</li> <li>2 鹿沼市地域防災計画について</li> </ol>	21
9	6	(14時頃) 船生雅秀	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域活動へのAEDの貸出等について</li> <li>2 鹿沼市自然体験交流センターの利活用促進について</li> <li>3 板荷地区の水道事業について</li> </ol>	22 ) 23
10	21	(15時頃) 増淵靖弘	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「全ての施策は人口減少対策」について</li> </ol>	24 ) 25

登壇予定時刻はあくまでも目安であり、前後することがありますので、予めご了解ください。

令和5年12月8日(金)

	議席 番号	(登壇予定時刻) 議員氏名	発 言 内 容	頁
11	13	(10時頃) 鈴木 毅	1 工事代金未払いの件について 2 当市の認定道路について	26
12	12	(11時頃) 石川 さやか	1 小中学校給食の充実について 2 がん対策について 3 高齢者福祉施策の推進について	27 ) 29
13	2	(13時頃) 仲田 知史	1 子育て政策について 2 障がい者支援について 3 鹿沼市土砂の埋立条例について	30 ) 31
14	15	(14時頃) 佐藤 誠	1 中学生の自転車通学ヘルメットについて 2 「はじめての防衛白書」の学校図書室への配架について 3 東大芦コミュニティセンターの老朽化について 4 出合いの森再開発とサウナの導入について	32 ) 33

登壇予定時刻はあくまでも目安であり、前後することがありますので、予めご了解ください。

1 番	議席 1 番 鹿 妻 武 洋	( 2 - 1 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>1 鹿沼市小中学校の教員の働き方について</p> <p>(1) 「鹿沼市小中学校における働き方改革推進プラン」の実施結果について</p> <p>「鹿沼市小中学校における働き方改革推進プラン」について、目標の達成状況を伺う。</p> <p>令和4年度における、鹿沼市立小学校および中学校の教員の、時間外勤務の状況（小学校、中学校それぞれについて、月45時間超、80時間超の割合、年間での月平均時間、最も多い月と最も少ない月の平均時間）と、それをどのような手段で把握しているのか伺う。</p> <p>今後どのようにして教員の時間外勤務の削減をしていくのか伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長)</p>	

1番	議席 1番 鹿 妻 武 洋	( 2 - 2 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>2 鹿沼市公共施設等総合管理計画について</p> <p>(1) 長期経過したコミュニティーセンターの更新について</p> <p>コミセン等公共施設の整備や管理については、鹿沼市公共施設等総合管理計画において機能集約や民間活力の導入などにより、「施設の維持」よりも「機能の維持」を目指すとしている。維持すべきコミセンの「機能」とはどのようなことが何う。</p> <p>当該計画策定後に更新されたコミセンが、どのような手法（統廃合、多機能化、長寿命化、民間活力導入）で更新されたのか何う。</p> <p>今後のコミセン更新における、民間活力の導入の検討状況について何う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

2 番	議席 9 番 梶 原 隆	( 4 - 1 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>1 デフレ完全脱却のための総合経済対策について</p> <p>(1) 重点支援地方交付金の「低所得世帯支援」について</p> <p>「デフレ完全脱却のための総合経済対策」が令和5年11月2日に閣議決定し、「重点支援地方交付金」として約1.6兆円の補正予算が成立した。</p> <p>低所得世帯支援として、住民税非課税世帯×7万円及び事務費分が市町村に交付されるが、できれば年内に給付をしていただきたいと思うが、現金給付なのかといった支援の方法や1世帯当たりの単価など、具体的内容について、市の考えを伺う。</p> <p>(2) 重点支援地方交付金の「生活者支援」について</p> <p>「重点支援地方交付金」の推奨事業メニューとして国は約5,000億円の補正予算が成立したが、鹿沼市には3月に交付された「重点支援地方交付金」の7割ぐらいの規模で交付されると思う。推奨事業メニューの中の「生活者支援」として、</p> <p>エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援  エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援  消費下支え等を通じた生活者支援  省エネ家電等への買い換え促進による生活者支援</p> <p>があるが、市として取り組む事業について、考えを伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

2 番	議席 9 番 梶 原 隆	( 4 - 2 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>2 子どもにやさしいまちづくりについて</p> <p>(1) 保育園での使用済み紙おむつ処分の無償化について</p> <p>令和 5 年 3 月議会での一般質問の答弁で、「市内保育園における使用済み紙おむつの取り扱いについては、市内の民間保育園 14 園のうち 12 園が保護者の持ち帰り、残りの 2 園が保育園で回収して処分をしております。」とあり、民間保育園で回収し処分する場合は、事業系一般廃棄物となり有料になる。公立保育園 7 園では、無償で回収されており、民間保育園でも園での回収が進むように、市の支援が必要と考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>(2) 学校給食について</p> <p>物価高騰のおり令和 5 年度は市の助成があり学校給食費は据え置きだったが、さらなる物価高騰で予算が追いついていないように聞いている。追加の支援を考えているのか、市の考えを伺う。</p> <p>令和 6 年度については、学校給食費の値上げを行うのか、市の考えを伺う。</p> <p>不登校の児童生徒をもつ親にすると、食べてもいない給食にお金を払うことにモヤモヤした気持ちを持っている。給食の止め方や、途中で止めた場合の給食費について伺う。</p> <p>発達障害の子どもたちが直面する大きな問題のひとつに「偏食」がある。その背景には、発達障害のある人に特有の「感覚過敏」があげられ、決してワガママで好き嫌いしているわけではないことが分かっている。こういった場合など、発達障害の子どもたちの「偏食」にどういった対応をとっているのか伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長)</p>	

2番	議席 9番 梶原 隆	(4 - 3)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>(1) 带状疱疹ワクチンの接種補助について</p> <p>鹿沼市議会は、令和4年12月議会で、議員案第10号「带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について」を可決し、国に意見書を提出した。その後、地方自治体、例えば宇都宮市などでも带状疱疹ワクチンへの助成が始まっているが、市の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について</p> <p>2022年5月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が施行されたが、内閣府のホームページにも記載があるように、視覚障がい者の多くは、自宅に届く郵便物などは補助ボランティアに代読をしてもらうか、文字をコード情報（音声コード）に変換して、読み上げ装置やアプリで聞いている。そこでまず、せめて、市役所などから送られる公的な通知文書や広報など印刷物、また年金や医療、各種保険などのお知らせ、公共料金の通知書類などには、音声コードの記載が必要と考えるが、市の考えを伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長)</p>	

2 番	議席 9 番 梶 原 隆	( 4 - 4 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>4 漏水対策について</p> <p>(1) 有収率の推移について</p> <p>料金収入が得られた水量を給水量で除したものを有収率といい、有収率が高いほど無駄なく水道水を供給できていることになる。市の有収率について、令和4年度から過去5年分の推移を伺う。</p> <p>(2) 漏水修繕の件数の推移について</p> <p>令和3年9月議会の一般質問の答弁に、「水道管についても、法定耐用年数の40年を迎える管が大幅に増えている」とあったが、漏水修繕件数について、令和4年度から過去5年までの推移を伺う。</p> <p>(3) A I 技術を活用した漏水対策について</p> <p>足利市では、A I 技術活用の実証実験を行っており、また、宇都宮市でも9月から環境ビックデータと A I を用いた水道管路劣化診断を導入したとあった。市のこれまでの漏水対策と、今後どういった対策を考えているのか伺う。</p>	<p>( 答 弁 者 : 市 長 ・ 副 市 長 ・ 教 育 長 ・ 関 係 部 長 )</p>	

2 番	議席 2 4 番 大 島 久 幸	( 4 - 1 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>1 堆肥化センターについて</p> <p>(1) 堆肥化センターの役割と維持管理について</p> <p>当初の目的や事業内訳・事業実績について伺う。</p> <p>当初の事業費、その後の施設及び設備改修費・維持管理費及び一般財源から充当してきた金額等の内容について伺う。</p> <p>(2) 堆肥化センターの今後について</p> <p>現状を踏まえ今後どのようにしていくべきかについて伺う。現状は、建屋が倒壊の危険にある。その中で堆肥化処理の作業をすること自体が危険と思われる。今後、建屋をどうするのか。そのうえで家畜糞尿の処理・堆肥化の手法、加えて、剪定樹木処理・生ごみ・下水汚泥処理等に幅を広げた考えが出てくると思うが、それらについての考えを伺う。</p>	<p>( 答 弁 者 : 市 長 ・ 副 市 長 ・ 教 育 長 ・ 関 係 部 長 )</p>	

2番	議席24番 大島久幸	(4-2)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>2 「鹿沼市土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」について</p> <p>(1) 「鹿沼市土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」の令和5年10月1日施行の一部改正について</p> <p>改正内容の特徴とされる部分について、改正によりどのような効果を期待したのか伺う。</p> <p>「鹿沼市土採取事業規制条例」「農地法」「森林法」他法律や条例との関連について。土採取・農地転用・森林法・道交法・土壌汚染防止法等との関連について。</p> <p>商工会議所緑産業部会と鹿沼市園芸用土協議会からの要望書について。改正内容を事前に関係者に説明やヒアリングを行ったか。要望書の内容をどのように受け止めたか。要望についてどのように対処するか。一部改正された「鹿沼市土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」の今後の運用について。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

2番	議席24番 大島久幸	(4-3)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 鹿沼市の排水処理事業について</p> <p>(1) 鹿沼市のきれいな水を守ることにについて</p> <p>きれいな水を守ることにについて。全般的な水質保全の考え方について。</p> <p>(2) 排水処理における公共下水道及び農業集落排水と浄化槽処理について</p> <p>公共下水道事業・農業集落排水事業の現状について。処理区域・管路延長・加入率等、また、工事費・維持費について伺う。</p> <p>浄化槽処理について。単独処理浄化槽の現状。単独処理浄化槽残存基数・単独処理浄化槽の水質管理など。合併処理浄化槽の補助事業について。事業内容(基数・金額・補助条件等)、年間の設置数と今後の予想数。鹿沼市独自に浄化槽設置推進事業として補助を行うことについて。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

2 番	議席 2 4 番 大 島 久 幸	( 4 - 4 )
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p>4 掬翠園のコワーキング事業について</p> <p>(1) 事業内容について</p> <p>事業目的・事業財源と効果について伺う。</p> <p>伝統的建築物・文化的財産を本来の目的外の活用を計画したことについて。</p> <p>今後のコワーキング事業・伝統的建築物・文化的財産としての保存と活用について</p>		<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>
<p>5 鹿沼市の政策決定と事業推進について</p> <p>(1) 鹿沼市の政策決定と事業推進について、議会に出される前の状況について</p> <p>政策立案・政策決定・具体的事業案・その作業内容・会議の経緯から議会提出までについて伺う。</p> <p>上記内容について各部間の調整はどのように行われているかについて伺う。</p>		<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>

4 番	議席 1 4 番 阿 部 秀 実	( 3 - 1 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>議 1 議案第 136 号 鹿沼市手数料条例等の一部改正について</p> <p>(1) 条例改正の詳細について</p> <p>条例改正では住民票の写し、税に関する証明書等の交付手数料及び督促手数料の引き上げをするものとしている。詳細と効果について伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・教育長・関係部長)</p>	
<p>1 ごみ・環境行政について</p> <p>(1) 家庭からの持ち込みごみ有料化の成果について</p> <p>令和 4 年 10 月 1 日より家庭からの持ち込みごみを有料化して 1 年が経過した。成果と課題について伺う。</p> <p>(2) 議案第 139 号での条例改正について</p> <p>改正する条例の、一般家庭の粗大ごみ及び事業系ごみの処理手数料の額の見直しについて詳細を伺う。</p> <p>条例における責務について伺う。</p> <p>条例改正の理由と、今後の取り組みについて伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・教育長・関係部長)</p>	

3番	議席14番 阿部秀実	(3-2)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>2 教育機関における課題について</p> <p>(1) 小中学校の屋内運動場（体育館）へのエアコン整備について</p> <p>地球温暖化が叫ばれて既に久しい時代となり、2023年夏以降、「地球沸騰化」という言葉も聞くようになった。今後、熱中症リスクへの対策や、夏の暑い時期での児童生徒の安心安全の活動を支えるためにも、2024年の夏に向けて、エアコンの整備を予算化するべきだと思うが、考えを伺う。</p> <p>(2) 学校給食費の無償化について</p> <p>これまでも要望してきた学校給食費の無償化について、自治体間競争への懸念などを示してきた。しかし、その一方で全国1,741自治体のうち491自治体が、昨今の物価高騰の中、少子化対策や貧困対策のため、保護者の負担軽減は重要かつ必要な政策などとして無償化に踏み出している。国の制度化を期待し要望することも大事だが、国に先行して検討するべきではないか。</p>	<p>(答弁者：市長・教育長・関係部長)</p>	

3番	議席14番 阿部秀実	(3-3)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 国民健康保険の運営について</p> <p>(1) 国民健康保険の運営と基金の活用について</p> <p>鹿沼市の国民健康保険運営は、平成30年に県単位の広域化運営へ移行した。県は6年間の経過措置として、3年間の栃木県国民健康保険運営方針を打ち出し、更新した令和3年4月1日から令和6年3月31日の現在の期間中において、保険税水準の統一に向けた検討が行われている。来年度から更新されて令和6年度から新たな運営方針となる。これまで鹿沼市の国保運営として積み上げた鹿沼市の基金は、国の税制改正などによる国保税の急上昇抑制も目的としたが、今こそ、鹿沼市の加入者に向けて活用するべきではないか。その一つとして、子育て応援の観点から子供の均等割全額補助へ基金の取り崩しをしてはどうか。また、物価高騰対策として、国保税全体の引き下げにも活用するべきと思うが、考えを伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・教育長・関係部長)</p>	

5 番	議席 3 番 橋 本 勝 浩	( 2 - 1 )
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p>1 水源地域対策について</p> <p>(1) 思川開発事業(南摩ダム)における対応について</p> <p>思川開発事業(南摩ダム)の建設に伴う河川水及び地下水や自然環境に対する調査内容について伺う。</p> <p>思川開発事業の運用開始に伴う地元及び市への影響について伺う。</p> <p>(2) 東大芦川ダム中止に伴う対応について</p> <p>東大芦川ダム中止に伴う関係機関及び地元住民との調整状況について伺う。</p>		<p>(答弁者：市長・関係部長)</p>

5 番	議席 3 番 橋 本 勝 浩	( 2 - 2 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p><b>2 防災力の強化について</b></p> <p>(1) 地域防災力の向上について</p> <p>「自主防災会」「地区防災計画」及び「地域防災計画」の関連性について伺う。</p> <p>鹿沼市における「地区防災計画」の策定状況について伺う。</p> <p>通常時における「地区防災計画」のフォローアップについて伺う。</p>	<p>( 答弁者：市長・関係部長 )</p>	
<p><b>3 学校教育の推進について</b></p> <p>(1) 教員の働き方改革を進めるにあたり取り組むべき課題について</p> <p>学校部活動の地域移行を進めるうえでの検討課題について伺う。</p> <p>学校部活動において、生徒が加入を選択することに対する鹿沼市教育委員会の見解について伺う。</p> <p>「地域学校協働活動」の取り組み状況について伺う。</p>	<p>( 答弁者：市長・教育長・関係部長 )</p>	

6 番	議席 8 番 藤 田 義 昭	( 2 - 1 )
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p>1 市民がより利用しやすくなるための市庁舎設備の充実化について</p> <p>(1) 市民がより利用しやすくなるための市庁舎設備の充実化について</p> <p>本庁舎 1 階フロアの多目的室、多目的スペース等の今後のあり方について。</p> <p>来庁者向けの軽食がとれるカフェやコーヒースタンド、売店等の設置について。</p>		<p>( 答 弁 者 : 市 長 ・ 副 市 長 ・ 関 係 部 長 )</p>
<p>2 鹿沼インター産業団地の整備状況について</p> <p>(1) 鹿沼インター産業団地の整備状況について</p> <p>整備状況と販売状況について。</p> <p>産業団地の今後の必要性について。</p>		<p>( 答 弁 者 : 市 長 ・ 副 市 長 ・ 関 係 部 長 )</p>

6 番	議席 8 番 藤 田 義 昭	( 2 - 2 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 労働力の確保について</p> <p>(1) 労働力の確保について</p> <p>市内の事業者へ外国人労働者の受け入れに関するアンケート調査の実施内容について伺う。</p> <p>事業者の人手不足対策の具体的な取り組みについて。</p> <p>高校生のアルバイト活動の推進について、市から高校に対して働きかけができないか。</p>	<p>( 答 弁 者 : 市 長 ・ 副 市 長 ・ 教 育 長 ・ 関 係 部 長 )</p>	

7番	議席 4番 早川勝弘	(3 - 1)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>1 総合経済対策について</p> <p>(1) 重点支援地方交付金の「事業者支援」について</p> <p>「重点支援地方交付金」の推奨事業メニューの中の「事業者支援」として、  医療・介護・保育施設・学校施設・公衆浴場等に対する物価高騰対策  農林水産業における物価高騰対策  中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援  地方公共交通・物流や地域観光業等に対する支援  があるが、市として取り組む事業について、考えを伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	
<p>2 地方創生 SDGs について</p> <p>(1) 鹿沼市の「奨学金返還支援制度」導入について</p> <p>奨学金返還支援制度は、自治体や企業が奨学金の返還を“肩代わり”する制度であり、公明党の推進により全国に広がっており、令和4年6月1日現在、36都道府県、615市町村が奨学金返還支援に取り組んでいる。県内では、宇都宮市や真岡市などが大学卒業後の働く世代を、市内へ移住・定住を促進するため取り組んでいる。令和3年6月議会での一般質問の答弁で、当時の総合政策部長より「調査・研究を行ってまいりたいと考えております」とあったが、その後の対応について伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

7番	議席 4番 早川勝弘	(3-2)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 投票率の低下について</p> <p>(1) 投票率低下の原因について</p> <p>令和5年度の栃木県議会議員選挙の投票率は44.62%、鹿沼市議会議員選挙は46.96%と、とうとう50%を割り込む状況になっている。選挙管理委員会はどのように認識をしているのか伺う。</p> <p>(2) 主権者教育について</p> <p>公職選挙法第6条では、選挙管理委員会は「選挙が公明かつ適正に行われるように常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治常識の向上に努めなければならない」と規定されているが、将来の有権者である子どもたちの意識の醸成について、小・中・高等学校等での選挙・政治に対する啓発活動について、選挙管理委員会の取り組みを伺う。</p> <p>(3) 投票率向上について</p> <p>市民からの要望として、  身近に、投票する機会を増やすため、商業施設や高校など期日前投票所を設置してほしい  投票所に行かなくても自宅で投票できるようにしてほしい  鹿沼市の市議会議員選挙も4月の統一地方選挙で実施してほしい  という声があがっているが、市の考えを伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長・選挙管理委員会事務局長)</p>	

7 番	議席 4 番 早 川 勝 弘	( 3 - 3 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>4 認知症施策の推進について</p> <p>(1) 認知症予防に係るフレイル対策について</p> <p>令和元年に閣議決定された認知症施策推進大綱では、予防と共生が2本柱に掲げられた。認知症の発症リスクを下げ、加齢による筋力や心身の活力低下（フレイル状態）を防止するためにどのような対策を検討しているのかを伺う。</p> <p>(2) 認知症カフェの活動について</p> <p>認知症カフェは、本人・家族・住民・専門家などが集い、立場や悩みを共有し相互理解が深まることで、認知症基本法で強調される共生社会の実現に向けて、大変重要な役割を担う。新型コロナの感染症法上の位置づけも変わり、今後はどのような集いの場の推進を行うか伺う。</p> <p>(3) 地域や民間事業者における見守り等の取り組み推進について</p> <p>昨年認知症による行方不明者は全国で18,000人と増加傾向にある。しかし、事故防止を優先し家に閉じこもる事は、本人も家族もストレスを抱える。たとえ行方不明になっても早期に発見でき、認知症の方や家族が安心して生活できる地域づくりを実現するための、地域のネットワークづくり等への取り組みについて伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

8 番	議席 5 番 駒 場 久 和	( 1 - 1 )
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p>1 プレミアム付商品券について</p> <p>(1) 実施方法について</p> <p>これまでの事業規模や販売方法の経緯について伺う。</p> <p>県内各市の同事業における動向について伺う。</p> <p>課題や今後の方向性について示せ。</p> <p>キャッシュレス決済ポイント還元事業を併用する考えがあるか伺う。</p>		<p>( 答 弁 者 : 市 長 ・ 副 市 長 ・ 教育長 ・ 関係部長 )</p>
<p>2 鹿沼市地域防災計画について</p> <p>(1) 指定避難所及び防災拠点について</p> <p>指定避難所について、市西北部 8 地区 ( 東大芦、板荷、西大芦、加蘇、南摩、栗野、粕尾、永野 ) に所在するそれぞれの地区ごとの箇所数、施設名、収容可能人数を示せ。また、各地区の推計人口を分母、収容可能人数を分子として、100 人中何人が収容可能となるか、分数で伺う。さらに、市全体の分数も示せ。</p> <p>防災拠点について、その機能として災害対策本部と地区連絡所が記載されている。この地区連絡所の課題や、整備計画について伺う。</p>		<p>( 答 弁 者 : 市 長 ・ 副 市 長 ・ 教育長 ・ 関係部長 )</p>

9 番	議席 6 番 船 生 雅 秀	( 2 - 1 )
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p><b>1 地域活動への AED の貸出等について</b></p> <p>(1) 地域活動への AED の貸出等について</p> <p>AED の貸し出し制度の概要、貸し出し実績について伺う。</p> <p>地域のイベント、ボランティア活動等のためにコミュニティセンターに貸し出し用の AED を配置してはどうか。</p>		<p>( 答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長 )</p>
<p><b>2 鹿沼市自然体験交流センターの利活用促進について</b></p> <p>(1) 鹿沼市自然体験交流センターの利活用促進について</p> <p>自然体験交流センターの利用状況、課題について伺う。</p> <p>市ホームページには「センターの目指すもの」として、「板荷の自然・文化・産業・人材」を活用とあるが、現状を問う。</p> <p>同様に「就業機会の創出や農林水産物の地産地消の拡大など、地域の活性化を促す」とあるが、現状を問う。</p> <p>利用者の拡大に向けての市の取り組みを問う。</p>		<p>( 答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長 )</p>

9 番	議席 6 番 船 生 雅 秀	( 2 - 2 )
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 板荷地区の水道事業について</p> <p>(1) 板荷地区の水道事業について</p> <p>板荷地区においては、過去に水道整備に関するアンケートが実施された経緯があるが、改めて板荷地区の水道整備の今後の考え方を問う。</p> <p>令和 2 年のフッ素検出を受け、板荷地区の安全な飲料水確保策をどのように考えているのか。</p>	<p>( 答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長 )</p>	

10番	議席21番 増 淵 靖 弘	(2-1)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>1 「全ての施策は人口減少対策」について</p> <p>(1) 社会資本の整備に来年度予算を大幅に増やすことができるかについて</p> <p>今回も、選挙でいろいろな市民の声として耳にするのは、道路整備、歩道整備、道路にかかる樹木の伐採など、市民に直結する生活道路の不備が目立つ。予算増と人的増の考えはあるか、市長の見解を示せ。</p> <p>全国の財政健全度ランキングを見ると、鹿沼市は、全国792市のうち199位、栃木県でも14市中7位であることを踏まえて、もっと社会資本の整備に投資をすることができると思うが、市長の見解を示せ。</p> <p>(2) 子育て世代又は子供たちへの大幅予算増について</p> <p>他の市の情報によると、子育て世代が転入することにより、色々な特典があると聞かすが、その先進事例を5件示せ。</p> <p>鹿沼市では子育て世代へのサービスを行うべきと思うが、予算も含めて実行する考えがあるか示せ。</p> <p>鹿沼市の子供たちへの奨学金のあり方について、給付型奨学金制度の創設ができないか、教育長の見解を示せ。</p> <p>空き家対策の一環として、鹿沼市の業者によるリフォームをして、その物件を格安で子育て世代専用の市営住宅として利用する考えがないか、市長の見解を示せ。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

10番	議席21番 増 淵 靖 弘	(2-2)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>(3) 少子化対策について</p> <p>前回の質問で伺った、令和4年の出生者数が488人であるのは危機的状況だと思うが、この比率で推移した時の5年後、10年後の出生者数を示せ。</p> <p>統計上、このままいくと、近未来には、市長がおっしゃっている未来の子供たちに借金を残さないと言っているが、その施策だと、借金はないが子供たちもいない限界都市になると考えるが、市長の「全ての施策は人口減少のために」という大目標との整合性について市長の考えを示せ。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

11番	議席13番 鈴木 毅	(1-1)
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p><b>1 工事代金未払いの件について</b></p> <p>(1) 鹿沼市発注の建設工事について</p> <p>工事代金8,675万円に対する工事内容を詳細に示せ。</p> <p>遅延損害金513万円についてどのように考えるか示せ。</p> <p>市長、副市長は3カ月分しか減給しない根拠を示せ。</p>		<p>(答弁者：市長・副市長・関係部長)</p>
<p><b>2 当市の認定道路について</b></p> <p>(1) 市道及び認定外の道路について</p> <p>認定道路において、未分割道路はどのくらいあるのか示せ。</p> <p>認定道路及び認定外で、未舗装道路はどのくらいあるのか示せ。</p> <p>未分割の場合は、固定資産税はどのようになっているのか示せ。</p>		<p>(答弁者：市長・副市長・関係部長)</p>

12番	議席12番 石川 さやか	(3-1)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>1 小中学校給食の充実について</p> <p>(1) 小中学校の給食について</p> <p>令和4年度食生活アンケートによると、学校給食が好きな児童生徒も、給食を全部食べている児童生徒も減少している。このアンケート結果についての見解を伺う。</p> <p>県内他市の自校炊飯と委託炊飯の現状についてと、委託炊飯に対する補助について伺う。</p> <p>給食の質を上げるために、給食費の一部（委託炊飯加工賃）を補助する考えについて伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

12番	議席12番 石川 さやか	(3-2)
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p>2 がん対策について</p> <p>(1) 子宮頸がんワクチンについて</p> <p>副反応の発生状況と、世界的に見たワクチンの安全性、有効性について伺う。</p> <p>キャッチアップ接種の実績と、今後の課題について伺う。</p> <p>(2) アピアランスケアについて</p> <p>医療用ウィッグと乳房補整具購入費補助制度の実績について伺う。</p> <p>(3) 若年性がんのターミナルケアについて</p> <p>若年がん患者の在宅ターミナルケア支援について伺う。</p> <p>(4) がん教育の推進について</p> <p>現役世代のためのがん防災マニュアルの導入について伺う。</p>		<p>(答弁者：市長・副市長・関係部長)</p>

12番	議席12番 石川 さやか	(3-3)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p><b>3 高齢者福祉施策の推進について</b></p> <p>(1) 高齢者福祉事業について</p> <p>65歳以上で独居の方が、誰にも看取られずに亡くなられた件数の推移を伺う。</p> <p>緊急通報システムと救急医療情報キットの利用実績と課題について伺う。</p> <p>高齢者福祉サービスの周知方法について伺う。</p> <p>(2) 介護を支える人材育成について</p> <p>介護に関する入門的研修の実施状況について伺う。</p> <p>認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座終了後の人材活用について伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・関係部長)</p>	

13番	議席 2番 仲田知史	(2-1)
発 言 要 旨		答 弁 要 旨
<p>1 子育て政策について</p> <p>(1) 子育て世帯の満足度について</p> <p>第8次鹿沼市総合計画の指標に掲げた、子どもがいる家庭における「子育て支援の充実」の満足度算定方法と令和4年度満足度実績値について伺う。</p> <p>(2) おむつ定期便事業について</p> <p>満足度を上げる手法の一つとして、各地で導入が進む「おむつ定期便事業」の本市での実施について、執行部の見解を伺う。</p>		<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>
<p>2 障がい者支援について</p> <p>(1) 指定特定相談支援事業所について</p> <p>本市内の同事業所における相談支援専門員1人当たりの平均担当利用者数について伺う。</p> <p>障がい者への相談支援サービスの向上を目的とした今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 障害者優先調達推進方針について</p> <p>令和4年度当初計画と実績の調達額について、執行部の見解を伺う。</p>		<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>

13番	議席 2番 仲田知史	(2-2)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 鹿沼市土砂の埋立条例について</p> <p>(1) 鹿沼市土砂の埋立条例について</p> <p>令和5年7月議会における「鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」一部改正案の上程に先立って、対象事業者への十分な説明および意見聴取等をどのようにしたのかを伺う。</p> <p>今後対象事業者が周辺住民等への周知の方法や反対意見がある場合の対応、県内土砂が不足した場合の特例について、今後事業者が混乱することなく適切に対応できるように条例の運用ガイドライン充実が必要と考えるが、執行部の意向を伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

14番	議席15番 佐藤 誠	(2-1)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>1 中学生の自転車通学ヘルメットについて</p> <p>(1) 中学生の自転車通学ヘルメットについて</p> <p>中学生の自転車通学用ヘルメットを工事現場用由来の半球型から、価格差も僅かで現代的デザインを備え軽量かつ通気性と安全性が高いスポーツタイプに変更すべきだが、執行部の検討状況を伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	
<p>2 「はじめての防衛白書」の学校図書室への配架について</p> <p>(1) 「はじめての防衛白書」の学校図書室への配架について</p> <p>生命と財産を守る防災の啓発や教育と同様に防衛も重要であり、「はじめての防衛白書」の市内小中学校の図書室への配架やPDF版の生徒への配布が望まれるが、執行部の見解を伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	

14番	議席15番 佐藤 誠	(2-2)
発 言 要 旨	答 弁 要 旨	
<p>3 東大芦コミュニティセンターの老朽化について</p> <p>(1) 東大芦コミュニティセンターの老朽化について</p> <p>老朽化の状況や建て替えおよび改修の必要性の有無について、執行部の見解を伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	
<p>4 出会いの森再開発とサウナの導入について</p> <p>(1) 出会いの森再開発とサウナの導入について</p> <p>出会いの森の総合的な再開発投資、特に温浴施設の名称変更やサウナの新設、営業時間延長等が本市の対外的な魅力と市民生活の利便性と福祉向上に資すると思われるが、執行部の見解を伺う。</p>	<p>(答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長)</p>	